

青嵐

学報
seiran
Vol.42

題字：阿南 惟正 前理事長筆



contents

- 02 | 平成27年度大学卒業者の就職状況について
- 04 | 研究室紹介
- 06 | 今年、九州のラクロスリーグは25周年を迎えます!!
- 07 | 早期支援システムについて
学生相談室とは
- 08 | 平成28年度 成績優秀者表彰式
本学独自ガイダンス開催決定!
国際環境工学部 ひびきのオープンキャンパス in 青嵐祭

平成27年度
大学卒業者の
就職状況について



公立大学法人

北九州市立大学

学報

発行日 / 2016年8月24日

発行元 / 北九州市立大学広報入試課

「地域」と歩む／「環境」を育む／「世界(地球)」とつながる
北九州市立大学は本年創立70周年を迎えました

平成27年度 大学卒業者の就職状況について

～過去最高更新の就職率98.6%～

01 就職率

北九州市立大学における「平成27年度学部卒業者の就職率(就職希望者に占める就職者の割合)」は、前年度より0.6ポイント高い98.6%となり、平成元年度の調査開始以降、2年連続で過去最高を更新しました。

これは、全国平均の97.3%に比べ1.3ポイント、九州地区平均の96.3%に比べ2.3ポイント上回っています。また、学部別の就職率では、地域創生学群が卒業者輩出以来4年連続100%を達成しました。

今回の就職率上昇は、

- (1)景気回復による企業の採用が増加したこと
- (2)就職活動スケジュールの繰り下げ(広報開始時期 3年生12月→3月、選考開始時期 4年生4月→8月)に対応するため、「学内合同企業説明会」の開催を増やし(平成26年度7日→平成27年度19日)、マッチング支援を強化したこと
- (3)インターンシップ強化によるキャリア教育の充実を図ったこと

区分	平成25年度	平成26年度
参加学生数	308	479
企業数	141	193

※平成27年度卒業生は、平成26年度(3年生時)のインターンシップに参加

等によるものと考えています。

02 北九州市内への就職状況

北九州市内への就職率向上に取り組んだ結果、北九州市内への就職者数は、191名(対前年度比+4名)と過去2番目(過去最多:平成22年度193名)に多く、市内就職率も19.7%(対前年度+1.2ポイント)となりました。

就職率
98.6%
※就職率=就職者/就職希望者
過去最高!



卒業生からのMessage

三菱電機株式会社 長崎製作所

北川 夕莉さん 外国語学部 英米学科 2016年3月卒業

Q. 現在の業務内容

A. 6月中旬より資材部で先輩方のサポートを中心に業務遂行しています。今後の業務内容としては現場実習終了後、オーロラビジョン等の半導体・LEDの調達を担当する予定です。

Q. 就職先を決定した決め手

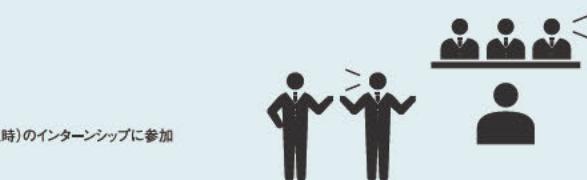
A. 就職活動の軸としていた「グローバルに働く」「規模の大きな仕事」、この2点に沿っていたことが決め手でした。多くの企業のセミナーや説明会に積極的に参加しましたが、当社であれば自分が理想とする社会人になれると思い入社を決意しました。

Q. 大学の就職支援や学業で役立ったこと

A. 【就職支援】学内合同業界研究会「JOB×Lab.」です。早い時期から様々な業界、多くの企業を知る良い機会となりました。自分が興味のない業界の説明も受けることで、元々志望していた電機系のメーカーに行きたいという気持ちが確かなものになりました。【学業】学部柄、学業で身に付けたことは就職活動というより今現在の業務で役立っていると実感しています。

Q. 後輩に一言

A. 「どこに内定を貰いたいか」ではなく「どこで働きたいか」を常に念頭に置いて、就職活動して欲しいです。



今回の市内就職率向上は、

- (1)学内合同企業説明会において、市内事業所設置企業の参加を増やし(平成26年度30社→平成27年度122社)、市内事業所とのマッチング支援に努めたこと
- (2)市内企業就職専用相談窓口の開設(週1回)等によるものと考えています。



03 特色ある就職支援

公務員研究室

平成26年度より「公務員研究室」を開設し、1年生の早い時期から、公務員試験に向けた勉強を習慣づけ、知識・学習・面接までを一貫して身につけます。月に一度の公務員専門学校講師による面談や模擬試験、面接対策等を行います。



エアライン特別講座

本学では、地元航空会社と連携し、学部3年生を対象とした「エアライン特別講座」を実施しています。

航空業界の現状や職務内容を現役の客室乗務員等から学び、航空業界の採用試験対策を行っています。



04 地元就職 COC+

北九州・下関地域への就職支援に力を入れています! ~「北九州・下関まなびとぴあ」を核とした地方創生モデルの構築~

本学を代表として、北九州・下関地域の13の高等教育機関は、自治体・経済団体とともに、平成27年度文部科学省が支援する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に応募し、採択されました。この事業では、学生の地域に関する学びを充実させるほか、事業展開スペース「まなびとJOBステーション」の運営やインターンシップの推進など、地域の企業と学生との様々な交流の機会を創出し、域内就職・域内定着を強力に支援、推進しています。

●まなびとJOBステーション

「北九州・下関まなびとぴあ」の事業展開スペースとして、地域の企業・団体と連携し、「仕事」(地域で働くひと/地域の企業・団体/地域での働き方)に関するリアルな学び・体験・交流の機会を提供しています。



●しごとZINEプロジェクト

地域の企業・団体の魅力発信マガジンを制作する5ヶ月間のプロジェクトです。約30名の学生がチームを組んで取材から広報までを担当します。



●就活ワークカフェ2016

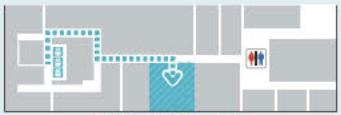
地域の企業・団体と学生の交流プログラムです。合説では聞くことのできない企業のリアルな声を聞くことができます。



お問い合わせ先

まなびとJOBステーション

北九州市小倉北区浅野1丁目1-1
アミュプラザ小倉西館8F



OPEN:

水曜日～日曜日
13:00-19:00
(閉館日:月・火曜日)

T E L : 093-967-2520

MAIL: station@manabito-job.com

Facebookで
最新情報をGET!

「まなびとJOBステーション」
facebook.com/manabito.job



卒業生からのMessage

株式会社タカギ

WaterDesign事業部北関東支店新潟営業所特販係

名切 大樹さん 法学部 法律学科 2016年3月卒業

Q. 現在の業務内容

A. 本社での1ヶ月間の研修を終えて、現在では先輩社員の営業活動に同行しています。6月11・12日には埼玉県のさいたまスーパーアリーナで行われたイベントに参加して、たくさんのお客様に商品説明をさせて頂きました。

Q. 就職先を決定した決め手

A. 人の生活に密接に関わる仕事がしたかったので、浄水器など水を取り扱うことに興味を持ちました。また、リクルーターの方に非常に親身になって相談に乗って頂き、タカギの人の温かさを感じたからです。

Q. 大学の就職支援や学業で役立ったこと

A. キャリアセンターの方には、就職活動当初から面接の練習やエントリーsheetの添削をして頂いたり、親身になって相談に乗って頂いたため、自信を持って迷いなく就職活動をすることができました。学業の面では、発表などをすることによって、物事に対してしっかりと準備をして取り組めるようになりました。

Q. 後輩に一言

A. 今後の人生が良くなるか悪くなるかは自分の頑張り次第です。何事にも恐れずチャレンジしてください!



科学するための学問

人々の行動を 過去とともに

経済学部 経済学科

土井 徹平

准教授



研究の魅力

私の専門は日本経済史で、日本の「産業革命期」に見られた労働移動について研究しています。かつての労働者は勤続年数が今よりずっと短く、1年から3年程度のスパンで、頻繁に雇用先を変えています。しかも、今より待遇がよいと聞けば九州であれ北海道であれ、国内のどこにでも移住する身軽さが彼らにはありました。私はこうした労働移動の実態と、その社会的・経済的背景について研究しています。

歴史と聞くと、過去の事実をひたすら覚える退屈な作業をイメージするかもしれません。しかし歴史学は、「なぜ彼らはこのように行動したのか」を考え、その選択を必然化した諸条件を分析する学問です。つまり過去を知ること以上に、過去をもとに人々の行動を科学するための学問なのです。

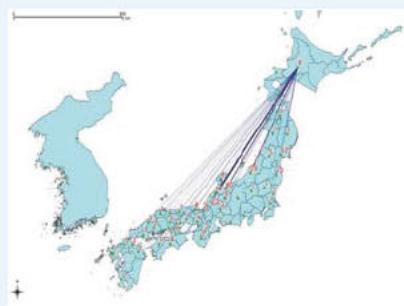


研究の源

過去を史料からひも解く歴史学には、新史料の「発掘」によって、まったく新たな事実を明らかにできる面白みがあります。そして「未発掘」の史料は、まだまだ全国にたくさん眠っています。私は労働者の足跡を追いながら、新史料を探して遠くは北海道まで調査に赴いています。

研究の未来

これまで歴史学は、ITとは縁遠い学問領域としてありました。しかしITを活用することで可能性が広がるのは歴史学も同じです。私は数万人分の移動に関するデータを、“GIS(地理情報システム)”を用いて処理することで、時代ごとに変化する労働移動のパターンを、地図上で可視化する作業を試みています。



ゼミのイチオシ

ご存知のように北九州は日本を代表する工業地帯としての古い歴史を持っています。この「地の利」を生かし、私のゼミでは市内の工場見学や古地図を手にしての街歩き、「産業遺産」を調査するグループワークなどを行っています。



先生のイチオシ

街にはいろんな所に、その場所の歴史を解説する案内板があります。観光客向けだと、普段、意識せずに通り過ぎているかもしれません。一度、立ち止まって読んでみてください。そこには自分が暮らす街の「物語」が記されています。街にはそれぞれ、現在の風景が生まれることとなった「物語」があります。その「物語」を知れば、見慣れた風景もほんの少し違って見えますよ。

HIBIKINO

問題を見つけること
するための出発点は
建築のデザイン・研究を

国際環境工学部 建築デザイン学科

Bart Julien Dewancker

教授



研究の魅力

建築学は幅広い分野にまたがっています。私達の研究室では、その中でも建築意匠学や都市計画学といった建築とデザインに関わる分野について研究しています。北九州市や福岡市など、比較的身近な地域を研究のフィールドとする学生も多くいますが、中には、世界規模に対象を拡大して研究を進めている学生もあります。さらに、建築デザインの研究室として、研究と平行しながら、建築設計コンペやポスター・デザインコンペなどにも積極的に参加しており、成果を収めています。研究とデザインは全く違うもののように思うかもしれません、どちらも問題点を解決するための手段として、私達の生活、そして未来を豊かにする手立てとしての役割を担っています。



研究の源

建築のデザイン・研究をするための出発点はどちらも問題を見つけることです。その問題を解決するには、世の中のあらゆる事に興味を持ち、空間、都市、ひとなどたくさんの知識を身につけることが不可欠です。広く興味や関心を持つことは、新しいことを学ぶことに繋がります。そして未来をつくるため、世界が発展するための基礎となるはずです。



ひびきの小学校建設現場にて

研究の未来

現在、卒業生が中国・インドネシア・タイ・ベトナムなどアジアを中心に、世界中で目覚ましい活躍を見せています。今後はこれら世界に広がるネットワークを研究室活動の足掛かりとして、より国際的な取り組みを進めていくとともに、研究室においても今まで以上に世界に通用する人材を育てていく予定です。



ゼミのイチオシ

現在、短期留学生も含めると32名の学生が研究室に所属しています。全体の3分の2が留学生のため、ゼミでは英語と日本語を併用しており、国籍を問わず日々コミュニケーションをとることが当たり前です。海外を身近に感じられる環境が、学生にとって、世界に目を向けるきっかけになっているのではないでしょうか。

先生のイチオシ

研究室の学生たちです。毎年、様々な国や地域出身の学生を研究室で受け入れていますが、学生が勉強するだけでなく、担当教員である私自身も学生から教わることが多くあります。

今年、九州のラクロスリーグは 25周年を迎えます!!

女子ラクロス部です。私たちは8月から10月にかけて行われる、年に1度の大きな大会であるリーグ戦に向けて日々練習に励んでいます。リーグでは、九州地区の男女各大学がそれぞれの思いを胸に熱い戦いを繰り広げます。そして、今年、九州地区のラクロスリーグは発足から25周年を迎えます。この節目の年にあたって、北九大ラクロス部がさらに成長できるよう、また、九州地区のラクロスがさらに盛り上がるよう取り組んでいきたいと思っています。



ラクロスとは

九州のラクロスリーグは今年25周年を迎ますが、ラクロスについて知らない方も多いと思います。ラクロスは、クロスと呼ばれる網のついたスティックとボールを使い、ゴールにシュートをして点を競い合うスポーツです。女子と男子ではルールが大きく異なっており、女子は華麗な動きが魅力的です。



九州地区では、ラクロス部がある高校はなく、全国的にも大学から始める人が大半を占めるスポーツで、スタートラインはみんな同じです。そのため、自分の努力次第では大学から日本代表を目指すこともできるスポーツです。

実際の試合を一度見ていただければラクロスの魅力が伝わると思います。興味ある方は是非会場にお越しください。皆様のご来場をお待ちしております。

感謝の思い

昨年度、青嵐グラウンドで行われたリーグの一戦には多くの方々が応援に駆けつけてくださいました。本当にありがとうございました。多くの方の支えがあって私たちはラクロスができています。試合を通して日頃の練習の成果と感謝の思いをお伝えしたいと思っておりますので、今年も試合に足を運んでくださると幸いです。



北九大ラクロス部のこれから

来年度には女子ラクロス部も創部から25年目となります。今年新たな部員を迎え女子ラクロス部は総勢30名となりました。フレッシュなパワーを持った1年生とともにリーグに出場します。他チームと比較するとまだまだ規模の小さいチームですが、より大きく、より強いチームを作れるよう今年も一つ一つ積み重ねていきます。これからもチーム一丸となって頑張りますので、応援よろしくお願ひいたします。まずは、この夏に行われるリーグで一戦一戦を大事にし、良い試合ができるよう、また、目標を達成できるよう練習に励みます!



試合日程

7/30(土)	リーグ開幕@春日公園球技場	9/10(土)	VS福岡教育大学@福教グラウンド(予定)
8/11(木・祝)	VS久留米大学@春日公園球技場	9/25(日)	VS福岡大学@舞鶴グラウンド
8/20(土)	VS筑紫女子学園大学@青嵐グラウンド	10/29(土)	決勝戦・リーグ閉幕@春日公園球技場

試合情報や試合結果を随時更新します。興味ある方は是非ご覧ください。 Twitter:@kitaqlax_girls

早期支援システムについて

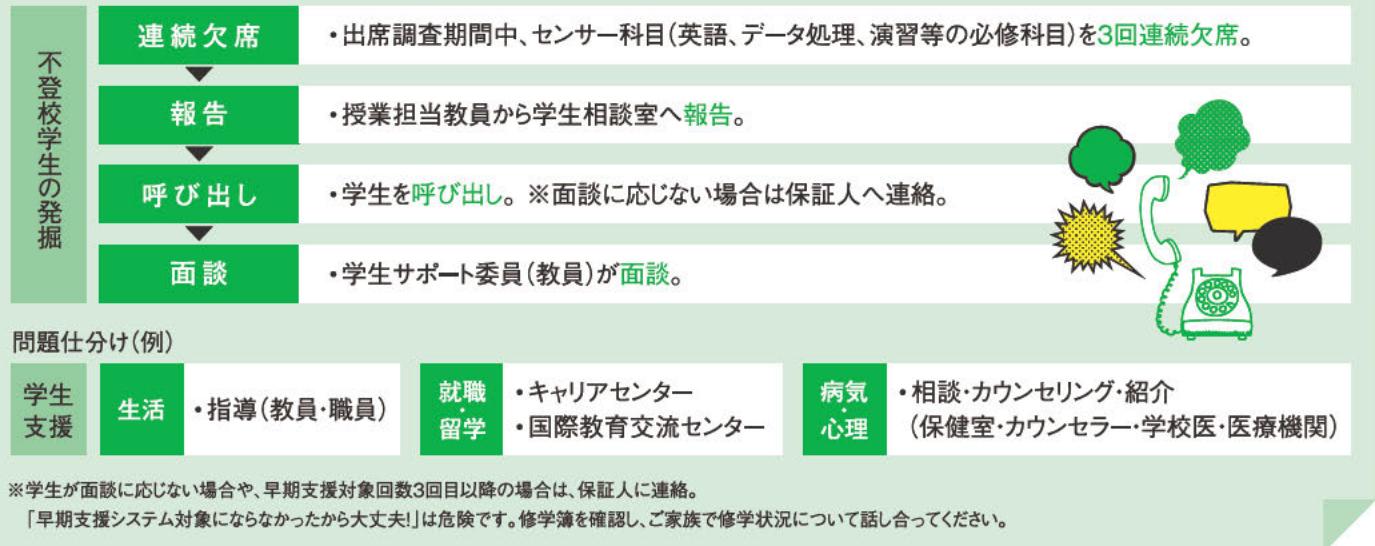
目的

身体的、精神的な病気や障害、悩み等何らかの理由で修学が困難な学生を早期に発見し、学生が抱えている問題点を解決・改善することで、不本意な休学、退学、留年に至らず、修学できるようにすることを目的として、平成19年度に開始されました。

概要

各学期1か月程度、各学科・学類ごとに設定したセンター科目(英語・データ処理・ゼミ(演習)等)の出席調査を行います。出席調査期間中、出席状況が良くない(3回連続欠席した、欠席や遅刻が目立つ等)学生を授業担当教員から報告してもらい、その学生を呼び出し、各学科・学類の学生サポート委員等が面談を行います。

不登校学生への対応【早期支援システム】



学生相談室とは

学生相談室の相談体制は、「学生なんでも相談窓口」、「カウンセリング」、「保健室での心身の健康相談」という3つの窓口で構成されています。この3つの相談窓口がチームを組んで、みなさんの学生生活が充実したものとなるよう全力でサポートします!



学生なんでも相談窓口

平日 9:00～18:00 土曜 9:00～12:00

その名のとおり、どんなことでも相談に乗ります。「海外へ私費留学するために休学したい」、「悪徳商法の勧誘に困っている」、「障害があることで大学生活に困っていることがある」等なんでも構いません。困ったらまずは遠慮せずに窓口へ来てください。



カウンセリングルーム

平日 10:00～18:00

カウンセリングは、臨床心理士の資格を持った職員がカウンセラーとして常駐しており、修学にやる気がでない、精神的に不安定、友人・家族・恋人などの人間関係に悩んでいる等、どんなことでも相談に乗ります。もちろん秘密は厳守します。



保健室

平日 9:00～18:00 土曜 9:00～12:00

保健室には2人の看護師が常駐しています。身長・体重・血圧・体温等の各種身体測定、ケガや体調不良の応急措置、病院の紹介、身体や病気・健康に関する様々な相談に乗っています。気軽に寄ってみてください。

※長期休業中は開室時間を変更しています。詳しくは学生プラザ掲示板で確認してください。

